

私たちが呼び掛けます

玉野高放送部員

メッセージは、火災予
防運動用の「空気が非常
に乾燥し、火災の起こり
やすい季節になりますの
で火の元、火の取り扱い
には十分注意してください
」、住宅用火災警報器
の設置を呼び掛ける「火
災で命を失う原因の第1

9日から予防運動

みんなで火災ゼロ目指せ

報車で流す防火啓発メッセージが一新され、これから1年間、玉野高生のフレッシュな声が市民に火の用心を訴える。(内田貴大)

9日から秋の火災予防運動が始まる。今年の統一標語は「その火事を防ぐあなたに金メダル」。玉野地区防火協会と市消防本部が広

市消防本部

林野想定 深山公園で訓練

技能向上へ
内容知らせず

林野火災に備えよう
と、市消防本部は5日、
深山公園で消防訓練を
行った。若手職員が実
際の火災現場に近い状
況で、池からの送水や
ホースの中継などを確
認した。秋の火災予防
運動の一環。
市内では、2011
年に石島で起きた林野
火災以来、大規模な山
火事の発生がなく、
現場経験が少ない若
手職員の技能向上を図
るのが狙い。想定内容
を事前に知らせない
「ブラインド型」の訓
練で、職員12人が参加
した。

午前10時に「深山公
園で煙が出ている」と
の通報を受けて出動。
赤松池東側の山頂付近
から煙が上がっている
ことなどから火元を特
定すると、池からポン
プ車で水をくみ上げ、
登山道に沿ってホース
を300メートルわたって
中継し、放水した。山
の南側への飛び火や山
頂付近の再燃といった
想定も途中で加わり、
ホースを付け替えるな



深山公園で林野火災を想定した消防訓練に取り組む職員



防火啓発メッセージを録音する玉野高放送部の溝内さん(左)と松本さん

広報車用 啓発メッセージ一新

位は逃げ遅れです。大切な命を守るため、必ず設置しましょう」など6パターン。
高校生を起用すること
で幅広い世代に火災予
防へ関心を持ってもら
うと、同協会などが同
に依頼。全国大会常連
の放送部から代表6人
が、声の速度や抑揚、間
の取り方に注意してマイ
クに吹き込み、部員同士
で聞き直して納得するま
で何度も繰り返し録音し
た。
部長の2年溝内春香さ
ん(16)は「車で走りなが
ら流しても聞き取れるよ
うにゆっくり読んだ。関
心を持ってもらえればう
れしい」。同松本ゆりあ
さん(16)は「これからは
暖房器具を使う季節なの
で、声を聞いて火の消し
忘れに気を付けてもら
いたい」と話した。
高校生の防火啓発メッ
セージは、2016年に
玉野商業高(現玉野商工
高)の生徒が録音したの
が始まり。玉野、光南の
市内3校が持ち回りで担
当している。

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。